

安全で住みよい地域にするために 札幌屯田防犯パトロール隊、新琴似西地区安全・安心パトロール「みつば隊」

大切なのは「つながり」

屯田地区で、地域の安全を守る活動をしているのが「札幌屯田防犯パトロール隊」。通称とんぼ隊と呼ばれるこの団体は、街頭パトロールや防犯意識の啓発イベントの主催、ホームページによる地域への情報発信など、さまざまな防犯活動を行っています。中学校のPTA会長をしていた松井敦利隊長の呼び掛けで、平成16年に約10人で結成された同隊は、今では隊員約80人の大所帯です。



青色回転灯をつけた車で地域をパトロール



ホームページは…

とんぼ隊

検索

本年度、北海道から防犯活動推進地区の指定を受けた屯田地区。松井隊長の言葉にも力が入ります。「大切なのは地域内の

「パトロールでは、不審者の発見はもちろん、子どもたちの様子にも気を配ります。自転車の二人乗りを注意するなど、危険を未然に防ぐことを意識しますね」と話す松井隊長。



見回りをするとんぼ隊のみなさん

つながり。住民全体で自分たちのまちを見守る、家族のような地域が私の理想なんです。それが抑止力になり、犯罪発生率も低下するはず」。町内会とも連携しながら、とんぼ隊はこれからもまちの安全を守り続けます。

自分たちで住みやすく

新琴似西地区にも住民主体の防犯活動を行っている団体があります。新琴似西地区安全・安心パトロール「みつば隊」です。みつば隊は、地域のシニア世代などで結成された団体。防犯パトロールの他、年金の支給日な



大切にしているのは住民との「交流」



どには金融機関を訪れ、振り込め詐欺への注意を喚起する活動も行っています。「自分たちの地域を住みやすくするのは自分たち、という意識が大切ですね」と話すのは高橋博章隊長。結成して約2年、最近ではパトロール中などに声を掛けられ、地域に定着してきたことを実感する機会も多いそうです。「活動は自分が住む地域への恩返しでもあるんです。住民の方との交流は何にも代え難いやりがい입니다」。その高橋隊長の言葉通り隊員たちはとても楽しそうに、笑顔で住民たちと接しながら

活動を行っていました。「みつば隊さんのおかげで、防犯意識が高まりましたね」と話す住民に「地域に貢献できることがうれいんです」と高橋隊長。そんな交流によって生まれる地域の和は、これからも広がっていきま



今日もパトロールに出動です

今回で紹介した他にも、北区には住民が主体となった活動を行っているさまざまな団体があります。あなたも「地域の安全を守る活動」に参加してみませんか。

詳細 北区総務企画課地域安全担当係
☎北区役所内線 214